

PRESS RELEASE

2024. 1. 10

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第69回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成17年(2005年)10月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業1,202社にアンケート調査を実施し、1,199社から得た回答（有効回答99.8%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感DIはやや改善」

【概況】

2023年10～12月の県内中小企業等の業況DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2023年7月～9月「以下同じ」）の▲10.9から▲7.5と3.4ポイントのやや改善となった。

業種別にみると、小売業（前回調査▲18.4→今回調査▲27.0）が悪化したものの、不動産業（▲3.7→5.6）、建設業（▲1.8→6.7）、サービス業（▲0.9→1.7）はプラス化、卸売業（▲18.9→▲8.3）、製造業（▲12.9→▲10.0）は改善した。

これを地区別の業況DIでみると、中部地区はほぼ横ばい、東部地区、西部地区は改善した。（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも、仕入価格や原材料価格の高騰が続いていることや、人手不足を経営課題として掲げている。

県内合計及び地区別DIの推移（全産業）

| | 2021年 | | 2022年 | | | 2023年 | | | 2024年 | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| | 10～12 | 1～3 | 4～6 | 7～9 | 10～12 | 1～3 | 4～6 | 7～9 | 10～12 | 1～3 (見通し) |
| 東部地区 | ▲25.1 | ▲35.9 | ▲26.4 | ▲19.6 | ▲14.1 | ▲18.9 | ▲17.6 | ▲16.0 | ▲11.4 | ▲22.4 |
| 中部地区 | ▲13.6 | ▲25.8 | ▲27.0 | ▲25.6 | ▲12.5 | ▲9.4 | ▲9.8 | ▲7.3 | ▲7.7 | ▲9.9 |
| 西部地区 | ▲21.3 | ▲27.5 | ▲23.7 | ▲19.1 | ▲10.9 | ▲18.7 | ▲11.8 | ▲9.0 | ▲5.3 | ▲8.8 |
| 県内計 | ▲21.3 | ▲29.9 | ▲25.0 | ▲20.3 | ▲12.1 | ▲17.3 | ▲13.2 | ▲10.9 | ▲7.5 | ▲13.2 |

2024年1～3月の業況見通しは、東部、中部、西部とも原材料価格等の高騰が続くとして、悪化の予想となっている。

■東部

東部では、小売業が▲4.8 ポイント ($\Delta 20.2 \Rightarrow \Delta 25.0$)、卸売業が▲3.6 ポイント ($\Delta 30.6 \Rightarrow \Delta 34.2$) と悪化したものの、建設業が 25.3 ポイント ($\Delta 10.0 \Rightarrow 15.3$)、不動産業が 3.0 ポイント ($2.9 \Rightarrow 5.9$) と改善しプラス水準、製造業が 5.7 ポイント ($\Delta 20.0 \Rightarrow \Delta 14.3$)、サービス業 2.0 ポイント ($\Delta 10.0 \Rightarrow \Delta 8.0$) と改善したことから、全産業ベースの業況 D I は、前回調査時の▲16.0 から▲11.4 へ 4.6 ポイントの改善となった。

製造業

業況は、原材料価格の高騰の影響が続いているものの、販売価格に転嫁でき始めたことから、改善している。

今後の見通し（2024 年 1～3 月期・以下同じ）としては、原材料価格の高騰は当面続くものと予想され、収益、資金繰りが厳しい状況が続くと思われることから、業況は悪化を見込んでいます。

（事業者の声）

- 需要の増加により今冬は売上が回復傾向にある。今後は仕入価格の上昇に伴う価格転嫁も課題となる。

（ペーパータオル製造業）

- 業界内では人材減少、高齢化による廃業が多い。既存取引先との価格転嫁の交渉、取引先数の増加が主な課題である。

（板金加工業・製図）

- 若手の人材を採用したいが応募がなく、今後を担う人材がない。

（金属製品製造業）

- 原材料価格の高騰の影響あり。光熱費の出費が大きく、自家発電等も今後視野に入れ事業運営を予定。

（ダイカスト鋳造及び金型製造）

- ロシアのウクライナ侵攻を背景とした半導体不足の影響を大きく受けている。

（製紙機械製造業）

卸売業

業況は、売上が停滞していることに加え、仕入価格の高騰を販売価格に転嫁しきれていないことから、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格の上昇など厳しい状況が続くと予想されることから、業況は悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- 物価高騰、為替レートの変動により、仕入価格が大幅に増加している。仕入価格の上昇に対し販売価格は上昇しておらず、利幅は縮小している。

（作業衣料卸売業）

- 海産物については総じて原料価格が高止まりしている状況。利益圧迫の状態は今後も業界全体として続く見通し。なお、処理水の海洋放出問題の影響は現状では出でていない。

（海産物卸売）

- 原油価格の高騰に伴い、セメント及びブロック等の価格改定を実施。取引先はコスト削減のため、ホームセンターで仕入れをする傾向にあり、売上が減少している。

（砂、碎石、セメント卸売業）

- ペーパーレス化の進展により故紙の回収量が減少している。競合他社が多い地域では、競合が少ない地域への進出も検討している。

（故紙卸売業）

- 閉店や規模を縮小する同業者が増加しており、個人店などでは廃業が多くなっている。

（生花卸売業）

小売業

業況は、年末商戦により一定の売上はある一方、それ以上に仕入価格の高騰が大きく影響していることから、悪化している。

今後の見通しとしては、仕入価格の高騰が当面続くものと懸念されることから、業況は悪化を見込んでいる。

（事業者の声）

- 仕入価格の上昇が続いており、販売価格に転嫁するも落ち着いておらず、収益の圧迫が経営課題となっている。

（タイヤ小売業）

- 今年度は記録的な猛暑、残暑によりイチゴをはじめとする果物にも影響が出ており、クリスマスシーズンに向けて値上がりが予想される。

（洋菓子製造販売）

- 原材料の 9 割を輸入品に頼っているが、原材料価格の高騰が続いている。中国製品に至っては頻繁に値上げがあるなかで販売価格は据置若しくは微増となっており、厳しい状況が続いている。

（寝具小売業）

- ・同地区にフランチャイズ形式の人気店が出店するも、そこから流れてきた顧客が常連化し、売上増加に繋がった。原材料価格の高騰の影響を受け、閉店する同業者が増えた。
(パン小売業)
- ・原油高の影響により収益確保に苦慮しているが、最近では政府の補助金により小売価格は安定してきている。
(ガソリンスタンド)

サービス業

業況は、材料価格の上昇はあるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行等により売上が少しづつ回復傾向にあることから、やや改善している。

今後の見通しとしては、原材料価格や光熱費の高騰の影響により消費マインドも節約傾向となることが予想され、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響が落ち着き、旅行客が少しづつ増加する見込み。高齢化による事業承継、宣伝の強化が課題。
(民宿・釣り船)
- ・遊戯業界がコロナ禍で大幅に落ち込んだものの、徐々にではあるが顧客数は回復傾向にある。しかしながら、競合激化により、体力の無い中小の経営状況は厳しい状況が続いている。
(パチンコ店)
- ・料金支払方法について、クレジットや電子決済の割合が高まっているため、資金繰りに注意している。
(清掃用具レンタル業)
- ・運送用トラックの運転手が不足している。ハローワーク等を通じて募集しているが、1月以降でないと人材は見つからない模様。
(生乳、飼料運送業)
- ・物価高騰で宿泊代金を上げたいが、上げることで客層が変わる等の懸念もあるため、代金は上げられない。
(宿泊業)

建設業

業況は、売上、受注が増加していることに加え、請負価格の上昇も見られることなどから、大幅に改善しプラス化となった。

今後の見通しは、原材料価格の更なる上昇のほか、人手不足などによる問題などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・鉄、アルミの仕入価格が上昇しているが、価格転嫁ができており、業況は好調である。
(産業機器設置業)
- ・公共事業の仕事を安定的に受けており、売上、利益ともに問題なく推移している。
(請負工事業)
- ・主要取引先が工場の電気をLEDに変更したため、交換工事の受注が入っており業況は好調。
(電気工事業)
- ・官公庁、民間からの受注は安定しているが、人手不足や材料価格の上昇による利幅の縮小などの慢性的な課題を抱えている。
(総合建設業)
- ・物価高の影響により建築資材が高騰している。消費者においても財布の紐が固く、細かな注文が増えている。
(住宅建設業)
- ・鉄筋工事を取り扱う事業者の多くは中小零細企業であるため価格競争に巻き込まれやすく、利益率の悪い事業者が増えてしまう傾向にある。
(鉄筋工事業)

不動産業

業況は、売上、収益ともに増加傾向にあることから、改善しプラス水準が続いた。

今後の見通しとしては、仕入価格は上昇傾向にあるものの、ある程度の需要はあると思われ、一定の売上確保が期待できることから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・競争力の向上に繋がる情報力の強化を図るべく、幅広い人脈の構築に尽力している。
(不動産売買、仲介業)
- ・着工戸数は、ほぼ横ばいでの推移であり急激な回復は見込めない。引き続き情報収集し他社に後れをとらないよう努める方針。
(不動産管理・仲介・販売)
- ・地主の高齢化によって、成年後見制度を利用する案件が増えている。また、地域内に水道工事業者が少なく、緊

- 急時の対応が遅れることがある。 (土地分譲・不動産売買仲介・賃貸)
- ・造成費が円安、物価高の影響で高騰しており、土地の仕入れが困難である。建物価格も引き続き上昇傾向にある。 (不動産売買、仲介業)
 - ・コロナ禍や物価高騰による新築住宅の価格高騰、工期の長期化の影響を受け、中古住宅の需要増加及び仕入価格の上昇が懸念される。 (不動産売買業・仲介業)

■中部地区

中部では、不動産業が27.3ポイント(▲9.1⇒18.2)、卸売業が14.3ポイント(▲14.3⇒0.0)とプラス化、製造業が1.6ポイント(▲18.9⇒▲17.3)とやや改善したものの、建設業が▲22.2ポイント(3.7⇒▲18.5)、小売業が▲16.7ポイント(0.0⇒▲16.7)とマイナス化、サービス業が▲4.2ポイント(8.7⇒4.5)とプラス水準ながら悪化したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲7.3から▲7.7とほぼ横ばいとなった。

製造業

業況は、原材料価格が上昇するものの、販売価格に転嫁の進展もあり、やや改善となった。

今後の見通しとしては、原材料価格の高騰の一服などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・大阪万博や東京の都市開発によってビルの建設が大都市で増加している。そのため、スポットでの受注が重なり増収傾向にある。 (アルミ建材製造)
- ・デパートの年末催事用の受注が入っており、多忙な状況であるが、固定費を考えると人員をこれ以上増やすことが難しい。 (製茶業)
- ・木材価格は落ち着いてきている。 (製材業)
- ・今年は暑さが11月頃まで続いたため、例年と比べ売上が増加した。 (清涼飲料水製造)
- ・仕入価格が高騰する反面、販売価格は据置させざるを得ず、頭を悩ませている。 (荒茶加工)

卸売業

業況は、販売価格の転嫁による売上の増加などから、改善している。

今後の見通しとしては、売上の鈍化などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・販売価格を上げやすい状況であり、基本的に価格交渉をせず値上げできている。 (事務機器卸売)
- ・コロナ禍では中国からの仕入に苦慮していたが、現在は安定している。 (海産物卸売)
- ・9月まではインボイス制度の影響により、レジスターの需要は高まったものの、10月以降は落ち着いている。 (レジスター卸売)
- ・鮭価格が対前年で下落しており、売上は厳しい状況にある。 (鮮魚卸)
- ・ここ数年の大きな変化で、これまでのデータがあてにならない。今一度、消費者のニーズに合った商品を開拓する必要性を感じている。 (食料品・飲料)

小売業

業況は、仕入価格の上昇を販売価格に転嫁しきれず、悪化している。

今後の見通しとしては、物価の高騰の影響による売上の減少から、業況はやや悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・物価高騰の影響で、消費者の買い控えが起きている。 (鮮魚小売)
- ・高額商品の売れ行きが悪くなっている。 (寝具小売)
- ・店舗売上の回復が見込まれないため、学校向けの卸売に力を入れていく。 (書籍小売)
- ・成人式等のイベント行事が再開され振袖の販売・レンタルはコロナ前水準まで回復した。 (呉服小売)
- ・来客数にさほどの変化は無いものの、物価高騰の影響により買上数が減少している。 (食料品販売)

■サービス業

業況は、材料価格の上昇や人手不足の影響により、やや悪化しているものの、引き続きプラス水準となった。

今後の見通しとしては、材料価格の更なる上昇により、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍に比べて客足は戻ってきているものの、材料費の高騰等の影響を受けて利幅が縮小している。今後はSNSの強化を図り挽回していきたい。
(ネイルサロン)
- ・中古車市場の価格は落ち着いてきている。
(自動車整備)
- ・未就園児向けの講座およびイベントを開催し、園児の確保に努めている。
(幼稚園)
- ・年々、クライアントが要求するレベルが高くなってきており、業況は悪化している。
(会計士)
- ・人材確保が難しい時代の到来を痛感している。2024年問題もあり、運送業にとって厳しい時代となる。
(一般貨物運送)

■建設業

業況は、材料価格の上昇や人手不足などから、マイナス化となり悪化している。

今後の見通しとしては、売上の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・人員が足りておらず、受注に対応しきれていない。
(給排水工事)
- ・売上は増加しているが、材料価格の上昇もあり収益面は厳しい。
(土木建築)
- ・コロナ5類移行後、新規出店や店舗改装など停滞していた案件が動きだした。
(内装デザイン設計)
- ・建設業界を取り巻く環境は競合激化・人手不足・材料費高騰と非常に厳しい。
(総合工事)
- ・現場作業員が不足しており、公共事業の受注ができない。ハローワーク等を活用するも、思う様に集まらない。
(土木工事)

■不動産業

業況は、売上、収益ともに堅調であり、大幅に改善しプラス化となった。

今後の見通しとしては、売上の増加から、業況は更なる改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・不動産は緩やかに価格が上昇しており、仲介手数料は増加する見通し。
(不動産仲介)
- ・古民家の需要が増加しており、売上増加していく見込み。空き家等の取扱いを含めた法改正も後押しとなっている様に感じている。
(不動産仲介・売買)
- ・残土問題の影響が多分に残っている。
(不動産分譲・仲介)
- ・売上は無難に推移している。今後は商品仕入を強化していく。
(不動産賃貸)
- ・建設費の高騰から、年齢層が高い消費者の購買意欲の低下が見受けられる。
(建売)

■西部地区

西部では、小売業が▲11.3 ポイント ($\Delta 23.1 \Rightarrow \Delta 34.4$) と悪化したものの、卸売業が 16.5 ポイント ($\Delta 15.2 \Rightarrow 1.3$)、サービス業 6.9 ポイント ($4.7 \Rightarrow 11.6$)、建設業が 6.5 ポイント ($2.6 \Rightarrow 9.1$)、不動産業が 5.8 ポイント ($\Delta 5.8 \Rightarrow 0.0$) と改善しプラス水準、製造業も 2.2 ポイント ($\Delta 9.7 \Rightarrow \Delta 7.5$) と改善したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲9.0から▲5.3へと3.7ポイントの改善となった。

■製造業

業況は、半導体や部品の供給不足の緩和などによる売上、収益の増加から、やや改善している。

今後の見通しとしては、中国経済の減速を懸念していることなどから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・海外向けの大型バイク販売は好調であり、業況は堅調に推移している。
(二輪車)
- ・半導体や部品の供給不足が緩和され、受注はコロナ禍前まで回復している。
(自動車)

- ・展示会やリアル面談が再開されており、商談は活発化している。 (織維)
- ・新商品の開発により販路開拓や売上の増加を見込んでいる。 (茶製造)
- ・中国市場の鈍化により、国内の工作用ロボットも動きが緩やかに推移している。 (機械)
- ・巣ごもり需要で伸長したピアノ販売が停滞し、納品がストップとなっている。 (楽器)

卸売業

業況は、イベント再開や地道な値上げ交渉を行ったことによる売上、収益の増加から、改善しプラス化となった。
今後の見通しとしては、仕入価格の再値上げを懸念して、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・物価上昇はあるが、イベント再開により受注が増加している。 (祭り用品ほか)
- ・地道な交渉により、値上げすることに成功した。 (梱包資材)
- ・若手採用が順調であり、社員の若返りを進めている。 (建築金物)
- ・仕入価格の上昇が続いている。 (食品ほか、同意見多数)
- ・仕入値上げが再び行われる予定であり、利幅圧迫を懸念している。 (衣服ほか)

小売業

業況は、仕入価格の高騰などにより収益を圧迫していることから、悪化している。
今後の見通しとしては、価格転嫁とコスト削減を同時にすることによる収益の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・仕入価格の上昇が続いているが、競合も多く、価格転嫁が難しい。 (家電販売ほか、同意見多数)
- ・材料費の値上がりを商品の品揃えで価格を据え置いてきたが限界を迎えていている。 (パン)
- ・コロナ禍からは景気回復しているが、人手不足が深刻化している。 (菓子)
- ・新規開店などによる贈答用の注文が増加している。 (生花)
- ・同業他社との競争が激化している。 (ガス器具)
- ・価格転嫁により売上は増加している。 (食品ほか)

サービス業

業況は、数年ぶりの忘年会開催など、各種イベントが行われるようになったことから、改善しプラス水準が続いている。

今後の見通しとしては、スポーツ関連の大会や各種イベントが規制なく開催されることを予想し、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・様々なイベントを計画、実行しており、新規顧客は増加傾向にある。 (レジャー)
- ・忘年会が開催される12月は売上の増加を見込んでいる。 (飲食)
- ・個人観光客や大河ドラマ館関連で休日は人の流れが増加している。 (飲食)
- ・人口減と高齢化が進み、若年層をいかに取り込んでいくかが課題である。 (理美容)
- ・団体客についてはインバウンドが伸び悩んでいる。 (宿泊)

建設業

業況は、工事受注など安定して確保していることから、改善しプラス水準が続いている。

今後の見通しとして、工事受注の増加に伴い人手不足を懸念して、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・年度末にかけて売上は増加していく見込みである。 (総合建設ほか)
- ・翌年度の受注・売上の見通しが立っている。 (土木・建築)
- ・以前よりも現場の原価管理が難しくなってきている。 (土木・建築)
- ・材料価格の高騰に伴い請負金額は大きくなっているが、利益率は悪化している。 (一般建築)

- ・人手不足で工期の延長が相次いでいる。

(土木・建築)

不動産業

業況は、コロナ禍からの行動制限が緩和され、売上が増加していることから、改善している。

今後の見通しとしては、魅力的な物件確保により商品土地の回転率を早め、収益につなげることを目指しており、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍からの行動制限が緩和され、不動産の引き合いは増えてきた。 (不動産仲介)
- ・賃貸物件は入居者の入替もスムーズで入居率は安定している。 (不動産賃貸)
- ・前期に比べて不動産の動きが活発で、売上・利益共に増加傾向である。 (不動産仲介)
- ・不動産全体の流通は増加しているが、住宅用地の購入者は減少している。 (不動産仲介)
- ・魅力的な物件を確保して、商品土地の回転率を早めることが課題である。 (不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社)静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

| | 今回調査(2023年10~12月期) | | | | | | 前回調査(2023年7~9月期) | | | | | |
|------|--------------------|-------|-------|-------|------|--------|------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 東部地区 | 4.3% | 18.4% | 43.2% | 25.1% | 8.9% | ▲ 11.4 | 3.0% | 15.4% | 47.2% | 23.3% | 11.1% | ▲ 16.0 |
| 中部地区 | 2.8% | 19.9% | 47.0% | 24.3% | 6.1% | ▲ 7.7 | 3.4% | 15.7% | 54.5% | 19.1% | 7.3% | ▲ 7.3 |
| 西部地区 | 1.4% | 20.3% | 51.4% | 21.1% | 5.9% | ▲ 5.3 | 1.5% | 16.1% | 55.7% | 21.4% | 5.3% | ▲ 9.0 |
| 県内合計 | 2.5% | 19.6% | 48.2% | 22.8% | 6.9% | ▲ 7.5 | 2.3% | 15.8% | 52.9% | 21.6% | 7.4% | ▲ 10.9 |

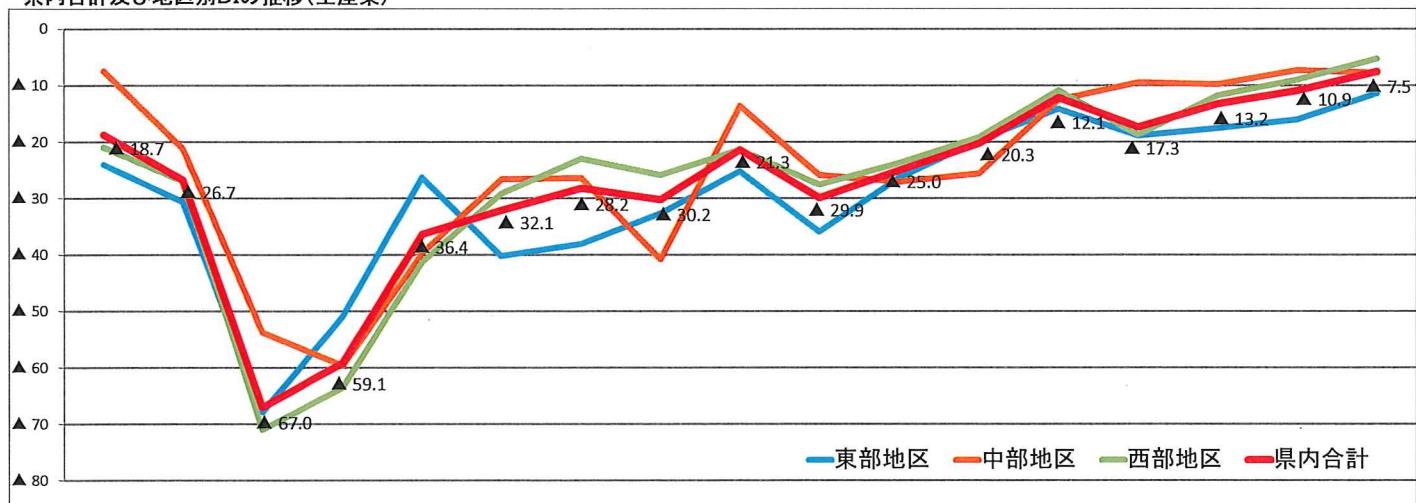
2. 業況予想(全業種)

| | 2024年1月~3月の業況予想 | | | | | |
|------|-----------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 東部地区 | 2.4% | 11.1% | 50.5% | 28.1% | 7.8% | ▲ 22.4 |
| 中部地区 | 2.2% | 17.1% | 51.4% | 25.4% | 3.9% | ▲ 9.9 |
| 西部地区 | 1.9% | 15.8% | 56.0% | 21.8% | 4.6% | ▲ 8.8 |
| 県内合計 | 2.1% | 14.5% | 53.6% | 24.3% | 5.5% | ▲ 13.2 |

3. 業況(DI)の推移(全業種)

| | 2019年 10~12月期 | 2020年 1~3月期 | 2020年 4~6月期 | 2020年 7~9月期 | 2020年 10~12月期 | 2021年 1~3月期 | 2021年 4~6月期 | 2021年 7~9月期 | 2021年 10~12月期 | 2022年 1~3月期 | 2022年 4~6月期 | 2022年 7~9月期 | 2022年 10~12月期 | 2023年 1~3月期 | 2023年 4~6月期 | 2023年 7~9月期 | 2023年 10~12月期 |
|------|------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 東部地区 | ▲ 24.0 | ▲ 30.6 | ▲ 67.0 | ▲ 50.9 | ▲ 26.2 | ▲ 40.2 | ▲ 38.0 | ▲ 32.7 | ▲ 25.1 | ▲ 35.9 | ▲ 26.4 | ▲ 19.6 | ▲ 14.1 | ▲ 18.9 | ▲ 17.6 | ▲ 16.0 | ▲ 11.4 |
| 中部地区 | ▲ 7.4 | ▲ 21.1 | ▲ 53.7 | ▲ 59.6 | ▲ 39.7 | ▲ 26.6 | ▲ 26.4 | ▲ 40.8 | ▲ 13.6 | ▲ 25.8 | ▲ 27.0 | ▲ 25.6 | ▲ 12.5 | ▲ 9.4 | ▲ 9.8 | ▲ 7.3 | ▲ 7.7 |
| 西部地区 | ▲ 20.9 | ▲ 26.9 | ▲ 71.0 | ▲ 63.6 | ▲ 41.3 | ▲ 29.1 | ▲ 23.0 | ▲ 25.9 | ▲ 21.3 | ▲ 27.5 | ▲ 23.7 | ▲ 19.1 | ▲ 10.9 | ▲ 18.7 | ▲ 11.8 | ▲ 9.0 | ▲ 5.3 |
| 県内合計 | ▲ 18.7 | ▲ 26.7 | ▲ 67.0 | ▲ 59.1 | ▲ 36.4 | ▲ 32.1 | ▲ 28.2 | ▲ 30.2 | ▲ 21.3 | ▲ 29.9 | ▲ 25.0 | ▲ 20.3 | ▲ 12.1 | ▲ 17.3 | ▲ 13.2 | ▲ 10.9 | ▲ 7.5 |

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2

・業種別業況

1. 東部地区

| | 今回調査(2023年10~12月期) | | | | | | 前回調査(2023年7~9月期) | | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|--------|------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 2.9% | 21.0% | 38.1% | 24.8% | 13.3% | ▲ 14.3 | 1.0% | 19.0% | 40.0% | 24.8% | 15.2% | ▲ 20.0 |
| 卸売業 | 2.6% | 18.4% | 23.7% | 44.7% | 10.5% | ▲ 34.2 | 0.0% | 13.9% | 41.7% | 30.6% | 13.9% | ▲ 30.6 |
| 小売業 | 4.8% | 11.9% | 41.7% | 28.6% | 13.1% | ▲ 25.0 | 4.8% | 13.1% | 44.0% | 21.4% | 16.7% | ▲ 20.2 |
| サービス業 | 0.0% | 20.0% | 52.0% | 20.0% | 8.0% | ▲ 8.0 | 6.0% | 14.0% | 50.0% | 22.0% | 8.0% | ▲ 10.0 |
| 建設業 | 8.5% | 25.4% | 47.5% | 18.6% | 0.0% | 15.3 | 3.3% | 13.3% | 56.7% | 25.0% | 1.7% | ▲ 10.0 |
| 不動産業 | 8.8% | 11.8% | 64.7% | 14.7% | 0.0% | 5.9 | 2.9% | 17.6% | 61.8% | 14.7% | 2.9% | 2.9 |
| 全業種 | 4.3% | 18.4% | 43.2% | 25.1% | 8.9% | ▲ 11.4 | 3.0% | 15.4% | 47.2% | 23.3% | 11.1% | ▲ 16.0 |

2. 中部地区

| | 今回調査(2023年10~12月期) | | | | | | 前回調査(2023年7~9月期) | | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|------|--------|------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 1.9% | 17.3% | 44.2% | 26.9% | 9.6% | ▲ 17.3 | 1.9% | 17.0% | 43.4% | 22.6% | 15.1% | ▲ 18.9 |
| 卸売業 | 3.6% | 28.6% | 35.7% | 28.6% | 3.6% | 0.0 | 0.0% | 10.7% | 64.3% | 25.0% | 0.0% | ▲ 14.3 |
| 小売業 | 0.0% | 23.3% | 36.7% | 33.3% | 6.7% | ▲ 16.7 | 4.0% | 20.0% | 52.0% | 20.0% | 4.0% | 0.0 |
| サービス業 | 0.0% | 18.2% | 68.2% | 13.6% | 0.0% | 4.5 | | 8.7% | 13.0% | 65.2% | 13.0% | 0.0% |
| 建設業 | 3.7% | 18.5% | 37.0% | 33.3% | 7.4% | ▲ 18.5 | 7.4% | 22.2% | 44.4% | 11.1% | 14.8% | 3.7 |
| 不動産業 | 9.1% | 13.6% | 72.7% | 0.0% | 4.5% | 18.2 | 0.0% | 9.1% | 72.7% | 18.2% | 0.0% | ▲ 9.1 |
| 全業種 | 2.8% | 19.9% | 47.0% | 24.3% | 6.1% | ▲ 7.7 | 3.4% | 15.7% | 54.5% | 19.1% | 7.3% | ▲ 7.3 |

3. 西部地区

| | 今回調査(2023年10~12月期) | | | | | | 前回調査(2023年7~9月期) | | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|------|--------|------------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 1.5% | 21.6% | 46.2% | 23.1% | 7.5% | ▲ 7.5 | 1.2% | 16.9% | 54.1% | 20.5% | 7.3% | ▲ 9.7 |
| 卸売業 | 2.6% | 26.9% | 42.3% | 24.4% | 3.8% | 1.3 | 1.3% | 17.7% | 46.8% | 29.1% | 5.1% | ▲ 15.2 |
| 小売業 | 0.0% | 7.8% | 50.0% | 32.8% | 9.4% | ▲ 34.4 | 0.0% | 7.7% | 61.5% | 23.1% | 7.7% | ▲ 23.1 |
| サービス業 | 0.0% | 20.9% | 69.8% | 7.0% | 2.3% | 11.6 | 0.0% | 23.3% | 58.1% | 18.6% | 0.0% | 4.7 |
| 建設業 | 1.3% | 23.4% | 59.7% | 13.0% | 2.6% | 9.1 | 5.3% | 18.4% | 55.3% | 19.7% | 1.3% | 2.6 |
| 不動産業 | 2.0% | 11.8% | 72.5% | 11.8% | 2.0% | 0.0 | 1.9% | 9.6% | 71.2% | 17.3% | 0.0% | ▲ 5.8 |
| 全業種 | 1.4% | 20.3% | 51.4% | 21.1% | 5.9% | ▲ 5.3 | 1.5% | 16.1% | 55.7% | 21.4% | 5.3% | ▲ 9.0 |

4. 県内合計

| | 今回調査(2023年10~12月期) | | | | | | 前回調査(2023年7~9月期) | | | | | |
|-------|--------------------|-------|-------|-------|-------|--------|------------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 1.8% | 21.0% | 44.3% | 23.9% | 9.0% | ▲ 10.0 | 1.2% | 17.4% | 49.9% | 21.7% | 9.8% | ▲ 12.9 |
| 卸売業 | 2.8% | 25.0% | 36.1% | 30.6% | 5.6% | ▲ 8.3 | 0.7% | 15.4% | 49.0% | 28.7% | 6.3% | ▲ 18.9 |
| 小売業 | 2.2% | 12.4% | 43.8% | 30.9% | 10.7% | ▲ 27.0 | 2.9% | 12.1% | 51.7% | 21.8% | 11.5% | ▲ 18.4 |
| サービス業 | 0.0% | 20.0% | 61.7% | 13.9% | 4.3% | 1.7 | 4.3% | 17.2% | 56.0% | 19.0% | 3.4% | ▲ 0.9 |
| 建設業 | 4.3% | 23.3% | 51.5% | 18.4% | 2.5% | 6.7 | 4.9% | 17.2% | 54.0% | 20.2% | 3.7% | ▲ 1.8 |
| 不動産業 | 5.6% | 12.1% | 70.1% | 10.3% | 1.9% | 5.6 | 1.9% | 12.0% | 68.5% | 16.7% | 0.9% | ▲ 3.7 |
| 全業種 | 2.5% | 19.6% | 48.2% | 22.8% | 6.9% | ▲ 7.5 | 2.3% | 15.8% | 52.9% | 21.6% | 7.4% | ▲ 10.9 |

資料 3

・業種別予想

1. 東部地区

| | 2024年1月～3月の業況予想 | | | | | |
|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 1.0% | 13.3% | 45.7% | 31.4% | 8.6% | ▲ 25.7 |
| 卸売業 | 0.0% | 7.9% | 42.1% | 34.2% | 15.8% | ▲ 42.1 |
| 小売業 | 3.6% | 4.8% | 41.7% | 35.7% | 14.3% | ▲ 41.7 |
| サービス業 | 0.0% | 4.0% | 66.0% | 28.0% | 2.0% | ▲ 26.0 |
| 建設業 | 5.1% | 18.6% | 59.3% | 15.3% | 1.7% | 6.8 |
| 不動産業 | 5.9% | 20.6% | 58.8% | 14.7% | 0.0% | 11.8 |
| 全業種 | 2.4% | 11.1% | 50.5% | 28.1% | 7.8% | ▲ 22.4 |

2. 中部地区

| | 2024年1月～3月の業況予想 | | | | | |
|-------|-----------------|-------|-------|-------|------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 1.9% | 15.4% | 53.8% | 21.2% | 7.7% | ▲ 11.5 |
| 卸売業 | 3.6% | 14.3% | 35.7% | 42.9% | 3.6% | ▲ 28.6 |
| 小売業 | 0.0% | 20.0% | 40.0% | 40.0% | 0.0% | ▲ 20.0 |
| サービス業 | 0.0% | 9.1% | 77.3% | 13.6% | 0.0% | ▲ 4.5 |
| 建設業 | 0.0% | 25.9% | 40.7% | 29.6% | 3.7% | ▲ 7.4 |
| 不動産業 | 9.1% | 18.2% | 68.2% | 0.0% | 4.5% | 22.7 |
| 全業種 | 2.2% | 17.1% | 51.4% | 25.4% | 3.9% | ▲ 9.9 |

3. 西部地区

| | 2024年1月～3月の業況予想 | | | | | |
|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 2.1% | 15.6% | 52.9% | 24.6% | 4.8% | ▲ 11.7 |
| 卸売業 | 0.0% | 19.0% | 50.6% | 25.3% | 5.1% | ▲ 11.4 |
| 小売業 | 1.6% | 4.7% | 57.8% | 23.4% | 12.5% | ▲ 29.7 |
| サービス業 | 0.0% | 25.6% | 62.8% | 9.3% | 2.3% | 14.0 |
| 建設業 | 3.9% | 18.2% | 58.4% | 18.2% | 1.3% | 2.6 |
| 不動産業 | 2.0% | 13.7% | 72.5% | 11.8% | 0.0% | 3.9 |
| 全業種 | 1.9% | 15.8% | 56.0% | 21.8% | 4.6% | ▲ 8.8 |

4. 県内合計

| | 2024年1月～3月の業況予想 | | | | | |
|-------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | 良い | やや良い | 普通 | やや悪い | 悪い | DI |
| 製造業 | 1.8% | 15.1% | 51.4% | 25.7% | 5.9% | ▲ 14.7 |
| 卸売業 | 0.7% | 15.2% | 45.5% | 31.0% | 7.6% | ▲ 22.8 |
| 小売業 | 2.2% | 7.3% | 47.2% | 32.0% | 11.2% | ▲ 33.7 |
| サービス業 | 0.0% | 13.0% | 67.0% | 18.3% | 1.7% | ▲ 7.0 |
| 建設業 | 3.7% | 19.6% | 55.8% | 19.0% | 1.8% | 2.5 |
| 不動産業 | 4.7% | 16.8% | 67.3% | 10.3% | 0.9% | 10.3 |
| 全業種 | 2.1% | 14.5% | 53.6% | 24.3% | 5.5% | ▲ 13.2 |